

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		健康都市杉並の推進			款	4	項	1	目	1	事業	13	整理番号	117						
担当部課名		保健福祉部管理課			係名	健康都市推進担当			連絡先電話番号	内1344			昨年度整理番号	135 枝番号						
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分															
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	4	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	1	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等		(1) 健康増進法・21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21) (2) 健康都市杉並庁内推進会議設置要綱												
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 健康を支援する環境づくり、条件整備を行うことにより、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も安心して健やかに生活できる「健康都市杉並」を実現します。				活動指標名(式)		(1) 健康都市白書発行部数 (2)												
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) 健康都市杉並庁内推進会議及び部会の運営 健康都市指標を活用した課題分析(健康都市指標調査の実施) 健康都市白書の発行 福祉人材就学資金の貸付による福祉人材の確保(16年度に貸付事務終了・現在は償還事務のみ) 「杉並区保健福祉計画(平成21年度～25年度)」の改定				成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)健康と感じている人の割合 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等												
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する	計画に対する							
			実績		計画		実績		計画		22年度	20年度の	20年度の							
												達成率%	達成率%							
指標	活動指標(1)		部	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,500	80.0	100.0							
	活動指標(2)		人																	
	成果指標(1)		%	82	82	81	82	85	85	85	85	100.0	103.7							
	成果指標(2)																			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,972	4,715	2,605	7,859	6,087	3,683	20年度予算執行率%			77.5							
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項										
	(内)委託費		千円	2,389	3,314	1,994	4,536	3,529	2,755	20年度は、17年度に策定した保健福祉計画の改定を行いました。予算執行残の理由は、健康都市指標の調査委託費の落差金等により										
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.05 0.00	1.44 0.00	1.34 0.00	4.05 0.00	4.08 0.00	1.75 0.30	ます。										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	9,513	13,162	12,248	36,653	36,924	15,838											
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	840											
	総事業費 + +		千円	12,485	17,877	14,853	44,512	43,011	20,361											
	単位あたりコスト (-)÷		円	10,404	14,898	12,378	37,093	35,843	16,968											
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0													
		国からの補助金等		千円	0	0	0													
都からの補助金等		千円																		
その他の補助金等		千円																		
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0												
差引:一般財源 -		千円	12,485	17,877	14,853	44,512	43,011	20,361												
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 117

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	健康都市指標の調査(執)	1
(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	健康都市白書の発行(執)	1200	部	584
	保健福祉計画の改定(執)			3,679
	償還対象者への納付書発行、文書、電話等の通知、償還相談対応、変更手続き等			14
	その他()			0
(2)事業実績	健康都市指標の調査については、生活習慣行動調査を行い平成13年、17年の調査結果と比較しました。分野別計画である「杉並区保健福祉計画(平成21年度～25年度)」を策定しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	今後の予測
	・平均寿命は、13・19年度(男78.0歳・80.3歳)(女84.5歳・86.3歳)、健康と感じている20歳以上の人の割合は、13・20年度(79.2%・84.7%)。・貸付事業の開始当初は看護や介護の人材不足が社会問題となり、福祉マンパワーの確保が優先課題でしたが、介護保険制度の導入により資格取得者は増加しました。	・健康都市白書について、他自治体からの問い合わせはありましたが、区民からの意見要望はありませんでした。・福祉人材就学資金については、他に資金貸付の制度はないかという問い合わせがありました。・杉並区保健福祉計画の改定に伴い、計画内容について多数の意見が寄せられました。	平均寿命の延長により、健康に対する区民の関心はますます増加することが予測されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	健康都市の理念、現状、課題等を共有化し、全庁的な取組みとして推進していくために、白書発行、庁内推進会議の実施、保健福祉計画の策定は貢献度が大きいです。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	調査・白書発行、計画策定については区民への直接的な成果向上を求めるものではないため。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	負担の対象となる受益者がいないため。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	健康都市指標の調査については、平成20年度に事業開始当初と同規模に減額したため。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	全庁的に取り組むべき新たな課題や所管が明確になっていない課題について、健康都市杉並庁内推進会議のもとに各種部会を設置し検討をすすめ、新たな事業や推進体制を整備しました。杉並区保健福祉計画については、3年に一度の改定の計画どおり、21年度～25年度までの計画を策定しました。今後の課題は、健康づくり・介護予防・スポーツ施策の整理統合や、食育推進等における関係組織の連携を推進していくことです。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	新たな健康課題(自殺対策や食育推進等)や継続的に取り組みをすすめている課題に対して、健康都市杉並庁内推進会議や部会設置等により、関連各部・課の共通認識と連携体制を強化し、全庁的かつ継続的な取り組みとなるよう検討をすすめました。20年度は、杉並区保健福祉計画の改定作業があったため、21年度予算ではその経費を削減しています。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・健康都市杉並を推進していくためには、区のあらゆる分野の施策に健康の視点を取り入れた公共政策づくりを全庁的かつ継続的に取り組んでいきます。							
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	複数の分野にかかわる健康課題の解決に向けては、部を超えた連携体制の構築に時間を要することが阻害要因としてあります。克服方法としては、各分野にかかわる情勢変化や新たな健康課題について迅速に把握するとともに、健康都市杉並庁内推進会議への付議や部会設置等により、関連各部・課の共通認識と連携体制を強化していきます。							
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由								

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保健所一般事務			款	4	項	5	目	1	事業	1	整理番号	300		
担当部課名		杉並保健所地域保健課			係名	管理係			連絡先電話番号	4528			昨年度整理番号	378 枝番号		
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	55	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 杉並保健所に勤務する職員及び保健業務に従事する雇上医師等					根拠法令等		(1) 杉並区組織条例 (2) 杉並保健所設置条例								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 庶務的経費を効率的に管理し、限られた予算の中で担当部内業務の効率的執行を行うとともに、職員がより安全かつ効率的に業務を行えるようにする。					活動指標名(式)		(1) 杉並保健所職員数 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 事務用品類の購入及び事務機器等の保守等 医療業務に従事する職員の傷害・賠償保険等の加入 衛生主管部としての担当部内各課の連絡調整事務					成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代) 予算執行率 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度	計画に対する20年度			
			実績		計画		実績		計画		22年度	の達成率%	の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	115	115	115	114	114	109			100.0				
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	86	100	89	100	89	100			88.8				
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,093	6,791	6,061	6,514	5,788	6,520	20年度予算執行率% 88.9						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	1,419	1,555	1,314	1,559	1,376	1,625	19年度は保健所維持管理とあわせて事務事業評価を行っていた。						
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.20 0.00	1.20 0.00	1.30 0.00	1.20 0.00	1.61 0.00	1.20 0.30	活動指標の職員数は、四課一所の職員数。						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	10,872	10,968	11,882	10,860	14,571	10,860							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	840							
	総事業費 + +		千円	16,965	17,759	17,943	17,374	20,359	18,220							
	単位あたりコスト (-)÷		円	147,522	154,426	156,026	152,404	178,588	167,156							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		千円														
その他の補助金等		千円														
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	16,965	17,759	17,943	17,374	20,359	18,220								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 300

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		複合事務機の使用賃借及び消耗品供給契約	3	台	1,341
		東京都保健医療情報センターにおける連絡通報受理業務委託(委託等)			1,294
		保健所事業に従事する医師等の傷害保険			1,101
		保健所業務に関する賠償責任保険			604
		その他(製版印刷機及びカラードラムの借料ほか)			1,448
(2)事業実績	複合機の消耗品供給契約、製版印刷機の借料などの管理事務経費の執行のほか、保健所に従事する雇い上げ医師等に対する執務環境を整えるため、賠償責任保険の加入やB型肝炎特殊検査などを行った。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度の組織改正により、保健福祉部が部全体の調整機能を担うことになったが、衛生主管部として担当部内の連絡調整を担うこととなった。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	より適正な予算執行が求められる。
	今後の予測	統合内部情報システムの本格実施に伴い、情報伝達及び提出書類のペーパーレス化が推進されるが、一方で情報量の増加に伴い、複合機(コピー・プリンタ)の依存が高まると思われる。また、組織を横断した課題が多くなり、より一層連絡調整機能が増加すると思われる。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	施策に貢献する事業を円滑に進めていくうえで、適正な執行管理は欠かせないため。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	庶務事務システムや新財務システムの本格実施により、より一層資源の省力化を図る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	職員対象の経費であるため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [OA化] (具体的内容)	新財務会計の本格稼働

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	紙の再利用を含む、ISO環境マネジメントシステムをよりすすめ、引き続き省エネ省資源化に努める必要がある。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 文書の電子化は進んでいるが、複合機(コピー・プリンタ)の使用量については、増加している。情報量のさらなる増大が原因とみられるが、引き続き削減に向け努力する。		
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 文書の電子化を一層進める。 複合機(コピー・プリンタ)の使用量については、情報量が増大し増加が見込まれるが、ISO環境マネジメントシステムによる裏面使用の等のルール徹底を行い、削減に向け努力する。		
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各種会議での資料等の重複が見受けられるので、配布や活用方法について検討し実施する。(事前にメール配信したものを改めて印刷して配布しないなど)			
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性 ○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	(2) 理由 統合内部システムの本格稼働等により、可能な限り電子化されており、今後の紙の使用量の大幅な削減は見込めない。ISO環境マネジメントシステムの観点からも、引き続き削減に努めていく。 事務用品等の購入に係る予算を精査し、予算執行管理を行っていく。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		衛生統計調査		款	4	項	5	目	1	事業	4	整理番号	303						
担当部課名		杉並保健所地域保健課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528			昨年度整理番号	379 枝番号						
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進										予算事業区分							
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 統計法 (2) 統計報告調整法									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		各種統計調査を的確に実施することにより、国及び区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策等広く反映させます。						活動指標名(式) (1) 実施調査種数 (2)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		厚生労働省の各種統計調査(人口動態・国民生活基礎調査等)を実施する。 人口動態調査の調査票に基づき、杉並区の人口に関する統計資料を作成する。						成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)調査件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等										
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%						
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度						
指標	活動指標(1)		件	7		5		5		11		11		8					
	活動指標(2)																		
	成果指標(1)		件	18,072		15,000		14,092		18,000		24,629		15,000					
	成果指標(2)																		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,967		2,484		1,906		3,310		2,264		2,424		20年度予算執行率%	68.4		
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0								特記事項 調査内容は厚生労働省より指示があるため、目標値の設定には馴染みません。 活動目標には、今年度、厚生労働省から委託された統計調査の実施数を、成果指標にはその実施する統計調査の予想件数を代替指数として用いました。 杉並区に調査対象が無かった調査や、調査対象が予想より少なかった調査があったことにより、20年度は達成率・予算執行率共に低くなっています。			
	(内)委託費		千円	40		188		22		779		548		215					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.54	0.00	0.54	0.00	0.54	0.00	0.54	0.00	0.54	0.00	0.20	0.30				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	4,892		4,936		4,936		4,887		4,887		1,810					
		(内)非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0		840					
	総事業費 + +		千円	6,859		7,420		6,842		8,197		7,151		5,074					
	単位あたりコスト (-)÷		円	979,857		1,484,000		1,368,400		745,182		650,091		634,250					
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0						
		国からの補助金等		千円	2,167		2,337		2,413		532		644		643				
都からの補助金等		千円	/		/		/		2,364		2,060		1,765						
その他の補助金等		千円	/		/		/												
特定財源計 + + +		千円	2,167		2,337		2,413		2,896		2,704		2,408						
差引:一般財源 -		千円	4,692		5,083		4,429		5,301		4,447		2,666						
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 303

20年度 の事業実施 状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				国民生活基礎調査	346
		中高年の生活に関する縦断調査	62	人	336
		21世紀成年者縦断調査	41	人	302
		国民健康・栄養調査	31	人	644
		その他(人口動態調査、社会問題調査等)			650
	(2)事業実績	予定されていた統計調査が実施されました。			

事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	急激な高齢化、出生率の低下に伴う少子化、慢性疾患の増加等により地域保健を取り巻く環境は大きく変化しています。一方で、国民の健康に対する意識の高まりから、衛生統計調査の種類・様式などの見直しが行われています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	個人情報保護の意識が高まり、統計調査に対しての不信感が高まっています。
	今後の予測	個人情報保護の意識の高まりから、調査拒否の世帯が増えていくとされます。それに伴い、調査方法の見直しがさらに進められていくとされます。

事業のあり 方点検	左の理由または具体的内容
(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	衛生統計調査は、統計法で定められた指定統計等であり、厚生行政の基本資料として各種施策に反映されています。
(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であり、調査目的・対象・規模が定められているため。
(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	受益者負担は無いため。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であり、調査目的・対象・規模が定められているため。

協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(4)へ <th style="width: 30%;">(2)協働等の相手</th> <th style="width: 10%;"></th>	(2)協働等の相手	
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方 実施継続	

評価と課題	個人情報保護の観点から、年々統計調査を拒否する世帯が増えてきていますが、特に採血を伴う「国民健康・栄養調査」については、調査拒否世帯が多い状況です。調査内容や方法については国が決めますが、区民の実情に合わせた調査となるよう、都や国に要望します。

改善・見直しの方向 (中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	調査対象世帯に調査の案内を配布するなど、調査に対する理解と協力を図りました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 統計資料がどのように活用されているかを区民に知らせる事により、統計調査の有用性を認識してもらい、調査票の回収率を向上させ、より精度の高い統計調査にしていく事が必要だと思われます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	抽出調査なので、広報等で広く周知させることは馴染まないため、区民の協力が得られない事が考えられます。解決方法としては、調査員が区民に対して今まで以上に丁寧に解りやすく説明できるように、調査員向けの説明会などを充実させていく事だと思われます。	
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ● 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	
	(2)理由	22年度は統計調査数や、一部の調査の規模が大規模調査となるため。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	各種保健事業推進活動	款	4	項	5	目	1	事業	5	整理番号	304				
担当部課名	杉並保健所地域保健課	係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	380	枝番号				
上位施策No・施策名	22 健康なまちづくりの推進					予算事業区分									
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 区民、保健所関係団体等					根拠法令等	(1) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 (2) 自殺対策基本法							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 区民の保健に対する意識を高め、関係団体の保健活動をさらに積極的なものとするを目的とします。					活動指標名(式)	(1) 区内献血者数 (2) 庁内献血者数(イベント等も含む)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) 自殺者の減少をめざして、自殺予防の普及啓発、相談窓口の対応力強化を進める。 関係団体と協力して、献血、薬物乱用防止、骨髄バンクドナー登録などの活動を行う。					成果指標	(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 自殺予防シンポジウム等参加者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 自殺者数の19年比削減率 算定式・指標の説明等							
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画	22年度					
指標	活動指標(1)	人	1,999		5,000		1,834		5,000	1,751	5,000	5,000	35.0	35.0	
	活動指標(2)	人	187		200		201		250	176	250	300	58.7	70.4	
	成果指標(1)	人	0		0		0		800	712	800	800	89.0	89.0	
	成果指標(2)	%	0		0		0		5	3	10	15	20.0	60.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,628		6,206		5,750		8,020	7,632	9,697	20年度予算執行率%		95.2	
	(内)投資的経費等	千円	0		0		0		0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	千円	0		0		0		1,321	1,321	352	指標「自殺予防シンポジウム等参加者数」は、「区政経営計画書」で成果指標とされているので、活動指標より移行			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.77	0.00	0.71	0.00	0.71	0.00	1.10	0.00	1.53	0.00	1.20	0.20	活動指標に新たに「庁内献血者数」(杉並区が実施する区役所内での献血及び区主催イベント等での献血)を追加
	人件費	千円	6,976		6,489		6,489		9,955	13,847	10,860	21年度予算額は、骨髄バンクドナー登録推進活動費が大幅に増加したことにより増額			
	(内)非常勤職員分	千円	0		0		0		0	0	560				
	総事業費 + +	千円	12,604		12,695		12,239		17,975	21,479	21,117				
	単位あたりコスト (-) ÷	円	6,305		2,539		6,673		3,595	12,267	4,223				
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0		0	0	0			
		国からの補助金等	千円	0		0		0		0	0	0			
都からの補助金等		千円	/		/		/		678	920	808				
その他の補助金等		千円	/		/		/		0	0	0				
特定財源計 + + +		千円	0		0		0		678	920	808				
差引:一般財源 -		千円	12,604		12,695		12,239		17,297	20,559	20,309				
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0	0.0	0.0					

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 304

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		自殺防止街頭キャンペーン	1	回	499
		山本コウタロー講演&ミニライブ	1	回	635
		区民健康保持事業補助金	3	団体	4,754
		地域保健推進協議会実施(2回)に係る委員謝礼金	32	人	232
		その他()			1,512
(2)事業実績	平成20年度から、毎年5月と9月を春と秋の杉並区自殺予防月間と定め、普及啓発や相談事業に重点的に取り組みました。普及啓発ライブ、街頭キャンペーン、うつ予防講演、自殺予防や多重債務の相談、図書展示等を実施し、電話相談で自殺企図の方を救い保健師に繋ぐなどの成果もあげました。また、医師会等による健康保持のための事業や献血、骨髄ドナー登録、薬物乱用防止などの取組を推進しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助については、適宜見直しを行い、適正化に努めています。また、近年の薬物事犯者が増加傾向にある状況の中、薬物乱用防止の普及活動は重要性を増しています。さらに、杉並区内の自殺者はこの10年間100人以上で推移していて、自殺予防を強化していくことは、急務とされています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	少子高齢化の進展や健康志向の増加を背景に、区民の保健事業に対する関心は高まっています。また、自殺対策基本法の施行を契機に、自殺を個人の問題ではなく社会問題として捉える考え方が広がっています。
	今後の予測	区民の健康への関心が高まる中、関係団体と連携して各種の保健事業を行うことはますます重要性を増しています。自殺防止や骨髄バンク支援などに積極的に取り組むことで、さらに区民の意識を高めていくことが必要です。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	健康なまちづくりは、関係団体や区民の保健活動への理解と協力が深まることが基礎であるから。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	区の広報やホームページ、パブリシティ等を積極的に活用し、普及啓発を進めます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	区民に直接的利益を供与する事業でないため、受益者負担は難しい。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	各団体の補助金については、それぞれ積極的な活用がされており、又、近年見直したばかりであり、当面は現状を維持します。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	平成20年度から開始した自殺対策の取組は、報道機関等にも取り上げられ、年間自殺者数にも若干減少が見られるなど、普及啓発に努めたことが効果を上げています。また、献血、骨髄バンク支援、薬物乱用防止、医師会等による健康保持のための事業などの取組も、成果を上げつつあります。今後は、より効果的な普及啓発の方策を探ることが課題です。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 20年度から自殺予防の普及啓発を本格的に開始しました。広報活動にも積極的に取り組み、報道各社に取り上げられるなど、区民への情報発信に努めました。21年度は、これまで以上に骨髄バンクの普及啓発に取り組んでいきます。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民の各種保健事業に対する意識を高め、関係団体の保健活動を支援していくために、区民や各団体とこれまで以上に連携するとともに、情報の共有を進めます。また、区民への情報提供や普及啓発を推進するために、インターネットや各種メディアの活用などにも取り組みます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 情報を上手に発信していくためには、職員の情報発信能力を高めていく必要があります。民間の情報発信の技術を学んだり、必要であれば一部委託するなどして、より高度な情報発信を行っていきます。	
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理 由 各種保健事業は短期間で成果を上げるのが難しいため、継続的に取り組むことが必要です。現在の予算を維持しつつ、より効果的な事業展開を図ります。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並健康都市づくり			款	4	項	5	目	1	事業	6	整理番号	305						
担当部課名		杉並保健所地域保健課			係名	管理係			連絡先電話番号	4528			昨年度整理番号	381 枝番号						
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分															
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	1	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等			(1) 健康増進法 (2) 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)												
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	健康づくりに関する地域ネットワークが整備され、区民・事業者・行政が健康都市の理念を共有し、区民が安心して健康に暮らしていける状態にします。			活動指標名(式)			(1) 「健康都市杉並ファロ」参加者数 (2) 「よい歯ファミリーフェスティバル」参加者数												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区と区民・関係団体と協働し、イベント(健康都市杉並ファロ・よい歯ファミリーフェスティバル等)を開催する。			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			成果指標名(1) (代)「健康都市杉並推進月間」協賛団体数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 「よい歯ファミリーフェスティバル」表彰家族数 算定式・指標の説明等												
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%							
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度							
指標	活動指標(1)		人	448	1,000	627	1,000	740	1,000	1,000	1,000	74.0	74.0							
	活動指標(2)		人	310	500	350	500	440	500	500	500	88.0	88.0							
	成果指標(1)		団体	56	60	48	60	16	20	20	20	80.0	26.7							
	成果指標(2)		家族	25	25	24	30	22	25	30	30	73.3	73.3							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,061	2,165	1,895	2,321	1,978	1,043	20年度予算執行率%			85.2							
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項										
	(内)委託費		千円	300	576	358	1,050	1,049	147	活動指標(1)は、20年度までは「イベント参加者数」として関係団体等の実施するイベントも含めていましたが、21年度からは「健康都市杉並ファロ」のみの参加人数とします。										
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.76 0.00	1.66 0.00	1.38 0.00	1.64 0.00	1.20 0.00	1.38 0.00	活動指標に、新たに「よい歯ファミリーフェスティバル」参加者数を追加します。										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	15,946	15,172	12,613	14,842	10,860	12,489	成果指標(1)は、20年度までは「協賛・協力団体数」としていましたが、21年度からは「協賛団体」のみとします。										
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0	21年度は事業の規模を縮小するため、予算は減額しています。										
	総事業費 + +		千円	17,007	17,337	14,508	17,163	12,838	13,532	20年度の執行残は、一般需用費の支出が少なかったことによります。										
	単位あたりコスト (-)÷		円	37,962	17,337	23,139	17,163	17,349	13,532											
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0										
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0										
都からの補助金等		千円				0	0	0												
その他の補助金等		千円				0	0	0												
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0												
差引:一般財源 -		千円	17,007	17,337	14,508	17,163	12,838	13,532												
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 305

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		健康都市杉並ファロの開催	1	回	1,727
		よい歯ファミリーフェスティバル開催	1	回	251
		その他 ()			0
(2)事業実績	<p>「健康都市杉並ファロ」は、区民・行政・各地域団体・関係団体等が協働して行う、健康づくりに関する集いや取組みの総称として、健康なまちづくりの推進に寄与してきました。21年度からは、従来の「中央イベント」のみを「健康都市杉並ファロ」として行い、地域団体や関係団体のイベントは「健康都市杉並推進月間」の取組みとして実施します。</p> <p>「よい歯ファミリーフェスティバル」については、共催者である区歯科医師会等関係団体が協力的なので各コーナーが更に充実し、参加人数にも反映されています。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>「健康都市杉並ファロ」は平成12年より毎年開催しています。今年度からは、従来の「中央イベント」のみを「健康都市杉並ファロ」として実施します。20年度で「健康づくり推進員」が廃止になり、新たに「健康づくりリーダー」が発足しました。</p> <p>「よい歯ファミリーフェスティバル」においては、区歯科医師会に加え、平成15年より東京都歯科衛生士会・区歯科技工士会を協賛団体として実施しています。</p>			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>「健康都市杉並ファロ」は、内容については比較的好評ですが、地域団体との協働のあり方などについて区民から意見・要望が出されています。</p> <p>「よい歯ファミリーフェスティバル」は、年々参加者数が増加しており、内容に関する意見・要望も多数寄せられました。</p>			
	今後の予測	<p>区民・地域団体を主体とした事業展開を進めていくことが、健康都市の理念の普及には効果的です。今年度発足した「健康づくりリーダー」の取組みと協働して、今後も健康なまちづくりを進めていきます。</p> <p>「よい歯ファミリーフェスティバル」は年々参加者が増加しており、昨年は会場が狭いという指摘もありました。来年度は区歯科医師会の協力のもと、年2回開催も視野に入れざるを得ない状況です。</p>			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由)	左の理由または具体的内容 健康なまちづくりの推進に必要な、健康都市の理念の共有に一定の貢献をしています。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	イベント内容の見直しやPR方法の工夫により、より多くの区民・地域団体の参加を促すことで、更なる成果の向上が見込まれます。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	杉並健康都市づくり事業については、今後区民が主体的に事業を実施するにしても、受益者負担にはなじまないと思われます。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	現状の経費は、事務運営上必要な最低限の経費であり、削減は困難です。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(3)へ			
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	<p>「健康都市杉並ファロ」は、「健康都市実現」に向けた取組みとして平成12年より開催され、地域の健康づくり活動の場として一定の役割を果たしました。しかし、イベントの開催自体が目的となり、開始当初の目標があいまいになっている等の課題があり、検討した結果、21年度からは、従来の「中央イベント」のみを「健康都市杉並ファロ」として行い、地域団体や関係団体のイベントは「健康都市杉並推進月間」の取組みとして実施することになりました。地域団体との連携など課題も残っており、今後も検討を進める必要があります。</p>				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
22年度方針		
(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ● 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	
(2)理由	21年度、かなり事業費が削減されたので、これから健康都市づくりに積極的に取り組むためには、22年度予算の増加が必要です。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		住民参画の健康なまちづくり			款	4	項	5	目	1	事業	12	整理番号	311					
担当部課名		杉並保健所健康推進課			係名	健康推進係			連絡先電話番号	4524			昨年度整理番号	391 枝番号					
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分														
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	9	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	2,4	政策番号	1,1	施策番号	1,1	事業コード	1,11	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等	(1) 健康増進法 (2) 食育基本法												
	健康づくり推進員、健康に関心を持ち健康なまちづくりへの参画ができる区民	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標名(式)													
	メタボリックシンドロームの予防の知識をボランティアが区民に普及する。 保健所における自主グループ活動を増加し健康づくりの仲間を増やす。	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標													
杉並地域大学において健康づくりリーダー講座を実施し、講座修了者を健康づくりリーダーとしてボランティア登録する。 保健所の健康講座等に参加した区民に呼びかけ、健康に関する区民の自主グループを結成し、食育や健康づくりに参画する区民のネットワークを拡大する。				成果指標名(1)				自分は健康だと思う区民の割合				成果指標名(2)				適正な食事内容を知っている人の割合(20歳以上)			
				算定式・指標の説明等				20歳以上											
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%						
			実績		計画		実績		計画		22年度								
指標	活動指標(1)		団体	13	20	9	20	5	20	20	20	25.0	25.0						
	活動指標(2)		回	80	70	78	70	77	0	70	110.0	110.0	110.0						
	成果指標(1)		%	80	85	81	82	85.2	85	85	100.2	103.9	103.9						
	成果指標(2)		%	59	70	59	60	60.1	62	65	92.5	100.2	100.2						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,745	3,032	1,795	6,177	5,603	5,791	20年度予算執行率%			90.7						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内)委託費		千円	0	0	0	3,101	3,068	3,264	健康づくり推進員は事業目標が達成されたので事業を廃止し、新たに健康づくりリーダーが発足しました。									
	職員数(常勤 非常勤)		人	9.06 0.60	8.98 0.40	6.43 0.43	6.43 0.43	6.80 0.43	5.62 1.03										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	82,084	82,077	58,770	58,192	61,540	50,861										
		(内)非常勤職員分	千円	1,698	1,108	1,191	1,204	1,204	2,884										
	総事業費 + +		千円	85,527	86,217	61,756	65,573	68,347	59,536										
	単位あたりコスト (-) ÷		円	6,579,000	4,310,850	6,861,778	3,278,650	13,669,400	2,976,800										
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0												
		国からの補助金等		千円	0	0	0		1,779	1,824									
都からの補助金等		千円																	
その他の補助金等		千円																	
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	1,779	1,824											
差引:一般財源 -		千円	85,527	86,217	61,756	65,573	66,568	57,712											
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 311

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		健康づくり推進員活動助成	9	地区	765
		地域団体との共同事業開催(5保健センター)及び地域支援講習	36	回	610
		自主グループ交流会等ネットワーク事業(5保健センター)	1340	人	287
		食育推進計画調査	1	回	3,174
		その他(健康づくり推進員研修会・地域食育普及イベントほか)			767
(2)事業実績	健康づくり推進員や健康づくり自主グループネットワーク企画の講座は、日常的に関心のあるテーマを設定しているので区民の関心を呼んでいます。杉並ウエストサイズ物語コーナーの運営や定期的な活動、地域のイベントでの健康チェックなど健康づくり推進員の活動が地域に定着し、区民が自分の体の状態を知り健康づくりの普及の輪が広がっています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	健康づくり推進員数 平成9年 210名、平成20年186名 自主グループ新規設立数 平成9年 16グループ、平成20年 5グループ
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	ウォーキングなど定期的な活動を身近な住民が、熱心を実施してくれるので親しみやすい。日常的にできる運動や健康に関する正しい知識、新しい話題などももっと多く取り入れて実施すれば、充実すると思う。
	今後の予測	高齢化が進展する中でとりわけ健康に対する関心はますます高まるものと考えられる。区民自身による健康づくり活動は、身近で顔が見え、健康づくりには欠かせない良好なコミュニケーションの形成が期待できるので、活動手段を一層創意工夫していくことが求められます。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 地域の実情を理解し、課題解決に向けて主体的に取り組む区民との協働は健康づくり活動に重要な推進基盤となります。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	健康づくり推進員の態勢を見直し、事業を精選し、より区民ニーズに沿ったものとします。 新しい区民による健康づくり態勢を構築し、忙しく働く年代も含めて、幅広い年代の参加を拡大できるよう努めが必要です。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	すでに必要に応じて受益者負担になっています。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	現在でも活動費等は、最低限としています。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題
 区民自身がボランティア的に健康づくり活動することは、身近な区民の相互の助け合い、ふれあひづくりという点や協働の視点からも望ましいものであり、今後は拡大していく必要があります。
 健康づくり推進員は、推薦による委員が大半を占めていますが、活動に対し意識の格差が散見されることもあり、また健康環境が大きく変化していることもあり、新たな課題に対応するための健康づくり組織を充足させる必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ● 増 ○ 現状維持 ○ 減	コスト: ● 増 ○ 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 健康づくり推進員のあり方を保健所内検討組織で検討し、自立的でよりよい協働のできる組織とするため、健康づくり推進員の制度を見直し所属する地区会への補助金を廃止した。21年度から新たに健康づくりリーダーを充足しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 健康づくりリーダーは21年度から充足するが、リーダー自身が企画、実行、評価していく態勢と力量が協働の観点からも必要である。そのため町会等からの推薦を廃止し、目的意識と使命感がある区民をリーダーとして登録し、健康づくり活動の区民への浸透を図っていきます。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 健康づくり活動をあらゆる世代に普及させるためには、活動の拠点の確保と健康に関する正確な知識と実践が必要となる。そのため地域大学の健康づくりリーダー講座の受講を必須とし、リーダーの質の向上に努め、さらには、活動するためには、区に登録しなければならないなど健康づくりへの使命感を持ち続けられるよう留意していきます。		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ● 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
	(2)理由 区民に正しい健康情報を普及啓発するためには、健康づくりリーダーとしての知識の向上を図るための研修の充実は不可欠であり、また生活習慣病予防に関する区民のための魅力的なイベントや講座を開催するための支援をし、地域における区民の区民による共に支えあう健康づくり活動を推進していく必要があります。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公共的施設の分煙化の推進			款	4	項	5	目	1	事業	13	整理番号	312					
担当部課名		杉並保健所健康推進課			係名	健康推進係			連絡先電話番号	4524			昨年度整理番号	392 枝番号					
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分														
事業開始		平成	▼	15	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	1	施策番号	1	事業コード	2	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 健康増進法第25条 (2) 杉並区喫煙対策実施施設登録制度実施要綱											
	分煙プレート等の配布: 健康増進法第25条に規定する施設講演会等: 一般区民																		
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		喫煙対策実施施設登録: 公共的施設や店舗が受動喫煙防止のための対策を講じ、杉並区喫煙対策実施施設として登録する。 講演会等の実施: 区民がたばこ健康に関する正しい知識を得て、禁煙および受動喫煙が防げる。																
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		受動喫煙防止の必要性周知 禁煙・分煙を行っている店舗・施設を喫煙対策実施店(施設)として登録 禁煙・分煙プレートの配布 ポスター・リーフレット等の作成配布 禁煙・受動喫煙防止講演会の実施																
活動指標名(式)		(1) ポスター・パンフレット作成・配布数 (2) 講演会参加者数																	
成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 喫煙対策実施施設の登録数 算定式・指標の説明等 17年度からの累計 成果指標名(2) 喫煙者率 算定式・指標の説明等 杉並区生活習慣行動調査(3年毎)平成20年実施)																	
kou		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%						
			実績		計画		実績		計画		22年度								
指標	活動指標(1)		枚	6,500	7,000	7,100	7,100	6,800	7,100	7,100	7,100	95.8	95.8						
	活動指標(2)		回	69	150	42	150	20	30	150	13.3	13.3							
	成果指標(1)		件	159	300	196	300	356	500	1,000	35.6	118.7							
	成果指標(2)		%	28	22	28	21	19	19	20	94.5	90.0							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	850	1,295	819	1,410	1,075	1,910	20年度予算執行率%			76.2						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0				特記事項 喫煙対策実施施設として登録時配布のプレートよりステッカーの配布希望施設が多いため、プレートの印刷枚数を少なくしました。 講演会の実施が1講座(3日制)しか実施できませんでした。									
	(内)委託費		千円	0	0	0	340	268	140										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30 0.00	0.24 0.00	0.34 0.10	0.34 0.10	0.34 0.20	0.11 0.30										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	2,718	2,194	3,108	3,077	3,077	996										
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	277	280	560	840										
	総事業費 + +		千円	3,568	3,489	4,204	4,767	4,712	3,746										
	単位あたりコスト (-) ÷		円	549	498	592	671	693	528										
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0												
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	883					1,000					
都からの補助金等		千円																	
その他の補助金等		千円																	
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	883	1,000											
差引:一般財源 -		千円	3,568	3,489	4,204	4,767	3,829	2,746											
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 312

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	普及啓発用ポスターおよびチラシの作成・配布	22300
(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	喫煙対策実施登録施設へのプレート印刷・配布	250	枚	296
	禁煙講座の実施	3	日	39
	公共的施設の分煙状況調査等郵送費	2000	件	268
	その他(消耗品購入)			76
(2)事業実績	区民の意識啓発を図るため、世界禁煙デーにあわせたポスターの作成・掲示や、母子手帳配布時に受動喫煙についてリーフレットを配布する等を行いました。杉並区の喫煙対策実施施設の現状把握を行うため、調査を実施し、あわせて杉並区喫煙対策実施登録制度の紹介を行い、その結果新規登録施設を大幅に増加させることができました。また、保健センターにおいて、禁煙希望者に対し、禁煙サポート教室を実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年の健康増進法に伴い、公的施設や医療機関、公共交通機関の分煙化は、進んでいます。公共的施設の分煙状況調査によると15年に比較し、飲食店は17%、理容等の施設は20%増加していますが、全体の割合からするとまだまだ少ない現状です。また、杉並区の喫煙率は、平成20年度は19%と徐々に低くなってきています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	公共的施設(特に飲食店)での望まない受動喫煙を防止するため、禁煙施設の増加に関する要望は多くなっています。
	今後の予測	2003年世界保健機関において「たばこ規制枠組条約」が採択され、日本でも平成22年まで公共的施設における完全禁煙を実現するための法的措置を講ずることとなっているため、今後、何らかの動きがあると思われます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	区民に対する普及啓発や喫煙対策実施施設の登録を促進させることで、受動喫煙を防止する環境整備や喫煙者を減少させることができ、健康なまちづくりの実現に貢献できる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	禁煙を希望する区民に対して、具体的なサポート方法を検討する。また、喫煙対策実施施設の登録を促進させるための方法を検討します。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	区民に対する普及・啓発や受動喫煙防止の環境整備は受益者負担になじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	現在のところ受益者負担になるものはない。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	平成20年度に公共的施設の分煙状況調査を行い、喫煙対策実施施設の登録を大幅に増加させることができました。しかし、飲食店等における分煙化の実施率は、まだまだ、低い状況です。飲食店等の受動喫煙防止についての区民要望は高く、今後22年の「たばこ規制枠組条約」の実施期限も近いことから、国の動きに合わせて対策を講じる必要があります。また、禁煙教室の実施は参加者が少なく、他の禁煙サポートの方法の検討が必要です。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成20年度に行った公共的施設の分煙状況調査にあわせ、事業の周知を行い、施設登録を大幅に増加させることができました。今後は新規開店する飲食店等に対し、喫煙対策実施施設登録制度のPRを積極的に行い、喫煙対策実施施設登録施設を増やします。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	「たばこ規制枠組条約」の実施期限が22年度とせまり、今後さらに分煙化を積極的に進めていく必要があります。国の方針に合わせ、実施内容・方法等を検討していきます。禁煙希望者に対し、禁煙講習会等を行っていますが参加者が少なく、今後NPOや医療機関と協働したサポート対策について検討します。							
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	喫煙対策実施施設の登録を進めていくためには、たばこの流通・販売業者や喫煙者の理解と協力が必要になります。今後も地域全体に対して普及啓発をはかっていきます。								
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	現状どおり、飲食店等に積極的にPRを行い、喫煙対策実施施設の登録を増やします。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		特定給食施設への指導			款	4	項	5	目	1	事業	15	整理番号	314			
担当部課名		杉並保健所健康推進課			係名	健康推進係			連絡先電話番号	4524			昨年度整理番号	394 枝番号			
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分												
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	9	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			特定給食施設及び栄養管理指導の必要な給食施設			根拠法令等	(1) 健康増進法第18条の2、第20条、第21条の3、第22条 (2) 杉並区健康増進法施行規則第3条、第4条、第5条								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	特定給食施設指導を通して、施設の栄養管理業務が向上する。 このことにより、喫食者の健康の維持増進がはかれる。			活動指標名(式)			(1) 施設への巡回指導及び来所指導件数 (2) 講習会参加者数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	給食施設から提出された栄養管理報告書内容の確認 課題解決にむけ施設の巡回来所指導を実施 栄養管理向上のための講演会の実施 調理技術向上のための講習会の実施 地域での栄養イベント実施の機会の提供 自主的な学習・地域貢献団体への支援			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			成果指標名(1) 給食の位置づけに対して十分機能している給食施設数/栄養管理報告書を提出した給食施設数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 喫食者に栄養・健康教育を実施した施設数/栄養管理報告書を提出した給食施設数 算定式・指標の説明等									
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度				
指標	活動指標(1)		施設	45	100	75	100	91	100	100	100	91.0	91.0				
	活動指標(2)		人	87	150	96	150	112	150	150	74.7	74.7					
	成果指標(1)		%	52	60	59	70	57	70	80	71.3	81.4					
	成果指標(2)		%	61	60	54	60	59	60	70	84.3	98.3					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	154	359	294	361	224	361	20年度予算執行率%			62.0				
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0					特記事項						
	(内)委託費		千円	0	0	0	100	50	50	講師謝礼のランクが低く抑えることができた。							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.17 0.45	0.21 0.45	0.23 0.20	0.23 0.20	0.22 0.20	0.11 0.30	試食に適さない内容だったので食材料費の残が出た。							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	1,540	1,919	2,102	2,082	1,991	996								
		(内)非常勤職員分	千円	1,274	1,247	554	560	560	840								
	総事業費 + +		千円	2,968	3,525	2,950	3,003	2,775	2,197								
	単位あたりコスト (-) ÷		円	65,956	35,250	39,333	30,030	30,495	21,970								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0										
		国からの補助金等		千円	0	0	0										
都からの補助金等		千円															
その他の補助金等		千円															
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源 -		千円	2,968	3,525	2,950	3,003	2,775	2,197									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 314

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	栄養管理報告書の受理と指導	2
(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	栄養管理者講習会	2	回	99
	栄養技術講習会	2	回	97
	自主的な学習・地域後援団体への支援	6	回	0
	その他()			16
(2)事業実績	医療制度改革をうけて、成人対象特定給食施設に制度の趣旨を充分認識した給食管理や栄養教育ができるよう、きめ細かく、講習会等を通じて情報提供を行いました。			

事業環境の変化	内容
事業開始当初から現在までの変化	食料不足時代に工場や寮での給食内容の充実を図るため法が整備され開始した本事業です。今や、外食や既製食品の利用が容易になり給食への依存が減少しました。また、当区では従来の寮等が移転し、変って高齢者施設や保育園などの児童福祉施設の届出が増えてきました。平成16年度対20年度比較・・・高齢者施設数15 26 児童福祉施設数51 64
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	老人保健施設「栄養ケアマネージメントについてアドバイスしてほしい」 保育園、幼稚園「給食に食育の視点を活かすためのアドバイスがほしい」
今後の予測	今後も、高齢者関係施設や保育園等の類の施設の登録が増加することが予測されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	対象施設の一部が団体を結成し地域への貢献活動を実施しているが、事業対象が施設に限定される傾向にあります。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	各々の施設が近隣住民に貢献活動をするよう誘導していきます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	受益者負担を導入する性格の事業ではありません。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	最低限のコストで事業を行っています。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題
給食を提供する一定規模以上の施設の栄養管理に対して、喫食者の健康増進に向け業務が推進されているかの確認と支援を行う業務です。昨年度はメタボリックシンドローム予防対策に重点を置いた医療制度改革が行われ、このことが給食を通した栄養管理にも反映されるよう対象施設全般に周知ができました。今後は高齢者関係施設に対しての支援を充実させていくことが重要になっていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	より一層の給食管理の向上が図られ喫食者の健康の維持増進につなげるために、特定給食施設で構成される自主団体の活動が活発に行われるよう支援しました。従来からの活動ですが、地域住民のメタボリックシンドローム予防イベントを自主団体と行政で共催しました。		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 引き続き、自主団体の効果的な活動が実践され、より多くの対象施設が活動に参加するよう勧奨していきます。そのことが各施設の給食管理にも活かされ、新たな取組がなされるよう支援していきます。		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	従来の給食管理方式からのステップアップの必要性に関心を示さない施設の管理者の状況が一部にあります。各々の施設にとって活用価値のある成果物が得られるよう、講習会や自主活動の結果が出せるよう支援していきます。		
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		精神保健対策			款	4	項	5	目	1	事業	21	320			
担当部課名		杉並保健所保健予防課			係名	保健予防係			連絡先電話番号	4525			昨年度整理番号	409		枝番号
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進											予算事業区分			
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			精神障害者及びその家族ならびに一般区民			根拠法令等		(1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (2) 杉並区精神保健事業実施要領					
	事業の目標		(対象をどのような状態にしたいのか)			心の健康問題に多くの人に関心を持つことで、精神障害者への理解を深め早期発見、早期治療につなげるために相談機能を充実します。 自殺予防に関する正しい知識の普及啓発のために、自殺の大きな要因であるうつ病対策に取り組みます。 回復途上の精神障害者の支援を行います。			活動指標名(式)		(1) 精神保健相談延べ件数(保健師の訪問、面接、電話相談) (2) 社会復帰訓練参加延べ人数					
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)			精神科専門医や保健師による相談を実施する。 自殺予防として早期の治療につなげるため、うつ病など精神疾患についての講演会を実施する。 回復途上にある精神障害者への集団活動を通じた社会復帰訓練を実施する。			成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)精神保健相談実相談件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 社会復帰訓練退所者の社会復帰率 算定式・指標の説明等 社会復帰訓練退所者のうち社会復帰と判断された者/社会復帰訓練退所者 × 100 (%)					
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度			
指標	活動指標(1)		件	16,078	13,000	13,475	13,500	13,214	13,700	14,000	94.4	97.9				
	活動指標(2)		人	3,440	3,000	2,763	3,000	1,614	3,000	3,000	53.8	53.8				
	成果指標(1)		人	2,667	2,800	2,867	2,900	2,813	2,900	2,900	97.0	97.0				
	成果指標(2)		%	79	80	89	90	90	95	95	94.7	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	17,932	19,238	17,940	19,280	17,908	19,198	20年度予算執行率% 92.9						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0				特記事項 ・区民の精神疾患への理解や心の健康づくりについては適当な指標がありません。 ・活動指標(1)成果指標(1)は、アデイクション等専門相談は含みません。 ・社会復帰訓練は、個人の目標に合わせた地域での自立を目標としているため、中断や入院しないで終了した時の状況を指標としました。						
	(内)委託費		千円	0	0	0	993	975	1,129							
	職員数(常勤 非常勤)		人	11.27 0.37	11.31 1.02	9.12 0.91	9.62 0.89	9.59 0.89	9.52 0.24							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	102,106	103,373	83,357	87,061	86,790	86,156							
		(内)非常勤職員分	千円	1,047	2,825	2,521	2,492	2,492	672							
	総事業費 + +		千円	121,085	125,436	103,818	108,833	107,190	106,026							
	単位あたりコスト (-) ÷		円	7,531	9,649	7,704	8,062	8,112	7,739							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0									
		国からの補助金等		千円	428	608	415									
都からの補助金等		千円														
その他の補助金等		千円														
特定財源計 + + +		千円	428	608	415	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	120,657	124,828	103,403	108,833	107,190	106,026								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 320

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		精神保健に関する相談	158	回	5,010
		精神障害者の社会復帰訓練	368	回	11,234
		心の健康づくりに関する講演会	6	回	556
		自立支援医療受給者証等送付			1,018
その他()			90		

事業環境の変化	(2)事業実績	社会復帰訓練は、通所間もないグループと地域での自立を目標としたグループに分けて運営してきましたが、21年度から5保健センターとも週1回の開催の方針に向けて利用者の自立目標に合わせた支援を行ってきました。その結果「卒業」する利用者が増えたため、全体の通所者が減少しました。心の健康づくりに関しては、自殺の理由としてあげられている「うつ対策」に取り組んできました。荻窪保健センターを中心にうつ講演会やうつ病の患者を持つ家族会の運営を行っています。
	事業開始当初から現在までの変化	50年に保健所業務が区移管されるとともに、精神障害者に対する相談、社会復帰訓練事業が開始されました。現在は18年に施行された障害者自立支援法のもとに知的、身体、精神の障害者がそれぞれの目標に合わせた地域生活を送れるよう関係機関全体で支援しているため、役割の明確化が求められています。一方、自殺の一因となっているうつ病などの精神疾患に対して、区民への正しい知識の普及と早期対応のための講演会などの啓発活動が重要になっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	長期入院患者や入退院を繰り返す不安定な精神障害者に対し、迅速できめ細かな対応が求められています。働き盛りの区民が参加しやすい形の啓発活動が求められています。うつ病の講演会など、働き盛り層が受講しやすい夜間、土日開催等の講演会の工夫が求められています。
今後の予測	自立支援法の下に社会状況に合わせた精神障害者特有のきめ細かな支援体制が必要となっています。心の健康づくりに関しては児童思春期、青年中年期の働き盛り層、高齢期のそれぞれのライフステージに応じた普及啓発が求められています。積極的ななかかわりをしていない成人に達した発達障害をもつ方への支援が必要になると考えられます。	

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 10年連続で自殺者が3万人を超える現在、その一因といわれる心の病に關しての働きかけは行政として不可欠です。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	児童思春期、青年中年期の働き盛り層、高齢期の各ライフステージごとの問題に応じた取り組みを全庁的に推進します。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく業務に受益者負担はなじみにくいです。また、精神疾患の予防は医療費の削減に効果があります。 社会復帰訓練事業など民間団体の運営に委託している区もあります。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)((4)へ)	(2) 協働等の相手
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	精神保健相談については、精神障害者の医療機関受診までの最初の相談機関として一定の役割を果たしており、有効に活用されている。社会復帰訓練に関しては、利用者の自立目標に合わせた支援を行い「卒業」となったため利用者の減少が見られている。一方で、個別ケースの事情に合わせたきめ細やかな継続的な支援も必要となっている。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 精神障害者の社会復帰訓練については5保健センターで週1回開催に平準化しました。ソーシャルワーカーには通所終了に向けて地域の社会資源を有効に活用できるよう個々の自立目標に合わせたきめ細かな支援を行ってまいり、作業所見学や就労相談等を行います。また、自殺対策の一環として5月と9月の自殺予防月間にうつ病等の心の健康づくり講演会を充実させていく必要があります。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 社会復帰訓練の実施回数の減員分に対してソーシャルワーカーとして地区活動の強化にあて、自立目標に合わせた個別支援や新規ケースの掘り起こしを充実させることにしました。8月までにソーシャルワーカーの活動評価を行います。また、自殺対策の一環としてうつ病等の心の健康づくり講演会を働き盛り層が参加しやすい休日に開催するとともに関係機関や職域団体との連携を図ります。	
22年度方針	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 社会復帰訓練を週1回に変更したため、発病間もなかったり退院直後で不安定なより支援の必要な利用者を受け入れることになり、社会復帰訓練に結びつける活動を強化させる必要があります。また地域の社会資源を有効に活用できるような訓練内容を検討していくことも必要です。うつ病等の心の健康づくり講演会は働き盛り層が参加しやすい土日や夜間の開催をします。	
	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 精神保健相談に関してはアデクション等、精神専門医による専門相談を活用して相談技術の向上を図ります。社会復帰訓練に関しては引き続き社会復帰に向けての地区活動の強化を行います。心の健康づくりに関しては、うつ病等の講演会などは自殺対策の一環として取り組みます。		

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保健所等施設の維持管理			款	4	項	5	目	6	事業	1	整理番号	337		
担当部課名		杉並保健所地域保健課			係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	388		枝番号	
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	11	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 保健所および保健医療センター利用者				根拠法令等		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並保健所設置条例								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	施設及び環境を安全で快適な状態にする。				活動指標名(式)		(1) 建物面積 (2) 保守委託契約件数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	保健所および保健医療センターの 庁舎管理 設備 保守管理 備品管理を行う。				成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 不具合件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	22年度						
指標	活動指標(1)		m ²	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426			100.0			
	活動指標(2)		件	15	27	15	15	17	17	17			113.3			
	成果指標(1)		件	19	0	21	0	22	0							
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	80,979	102,411	75,484	84,665	81,520	96,983	20年度予算執行率%		96.3				
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成11年4月竣工 建物面積は荻窪保健センターを含む。 事業の性質上、目標値は設定しない。 平成18年4月組織改正によりレイアウト変更。 画像診断システムの保守委託については、平成17年度までは事務事業評価表を別にしていた(17年度整理番号442)が、平成18年度から本評価表に組み入れた。 杉並保健所一般事務については、平成20年度から事務事業評価表を別にした。						
	(内) 委託費		千円	63,146	65,232	56,110	49,720	47,077	66,659							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.54 0.00	0.61 0.00	0.54 0.00	0.54 0.00	0.64 0.00	0.40 0.20							
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	千円	4,892	5,575	4,936	4,887	5,792	3,620							
		(内) 非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	560							
	総事業費 + +		千円	85,871	107,986	80,420	89,552	87,312	101,163							
	単位あたりコスト (-) ÷		円	13,363	16,805	12,515	13,936	13,587	15,743							
	財源	受益者負担分		千円	380	331	108	333	805					333		
		国からの補助金等		千円												
都からの補助金等		千円														
その他の補助金等		千円														
特定財源計 + + +		千円	380	331	108	333	805	333								
差引: 一般財源 -		千円	85,491	107,655	80,312	89,219	86,507	100,830								
受益者負担比率 ÷		%	0.4	0.3	0.1	0.4	0.9	0.3								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 337

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	建物総合管理及び機械警備委託等				22,617
	光熱水費(電気・ガス・水道・電話)				23,491
	機械設備保守点検業務委託等				13,860
	画像診断システムの保守委託等(保健予防課)(委託等)	2	件		7,875
	その他(委託・修繕・維持管理用品・電柱広告使用料)				13,677
(2)事業実績	保健所及び保健医療センターの機能を低下させないよう、維持管理を行った。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年度の運営開始時は「休日等夜間急病診療所」を年間を通じて開設したが、平成12年度と13年度の平日は休止となる。平成14年度は平日夜間の「小児夜間急病診療所」を開設した。夜間の開設時間が延長となったため、警備員や駐車場管理の委託費が増大した。平成17年度に「杉並区急病医療情報センター」の委託事業の開始により、施設内の「テレホンサービス事業」が廃止となる。平成18年度地域保健課が新設され、保健予防課ではHIV検査、健康推進課では休日パパママ学級の委託事業などが始まり、土・日曜日の施設利用頻度は高まってきている。平成19年度より「医療安全相談窓口」を開設した。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	建設後10年を経過し、建物及び設備の劣化等により修繕費および保全費用等の経費が年々増大している。光熱水費の価格上昇や、平成20年度より「休日等夜間急病診療所」の開設時間が延長のため、さらに光熱水費の増加が見込まれる。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	保健衛生行政及び健康都市づくりの各である保健所を利用する区民に対して、安全で快適な施設を提供することは、区民の保健福祉向上に必要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	定期的な保守点検と修繕により、施設設備の不具合の発生を抑制する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	条例に基づき適正である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	環境マネジメントプログラムを徹底することにより、光熱水費を縮減する。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(3)へ
	(3) 協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	経年劣化により修繕箇所が増加しているため、保健所を利用する区民が安全で快適に利用できるよう、今後も保守点検と修繕により、施設設備の不具合の発生を抑制していく必要がある。ISO環境マネジメントの趣旨を職員や利用者によく理解されるよう努め、意識の高揚を図る。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	環境マネジメントシステム運用の継続により、職員一人ひとりの節水・節電・紙の節約等の意識は高まっているが、光熱水費の価格上昇や、建物及び設備の劣化等により全体の経費が増大している。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	環境マネジメントシステム運用の継続により、職員一人ひとりの節水・節電・紙の節約等の意識をさらに高めていく。また、定期的な保守点検と修繕により、施設設備の不具合の発生を抑制し、経費削減に努める。							
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	民間の事業所も混在する複合施設なので、勤務する者の形態が違い、経費節減の目的意識の徹底が難しい。各課・事業所が実施する事業によって維持経費が増減する要素が大きく、一概に前年と比較できない。							
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	維持経費については、各課・事業所の事業によって変動するため予測しにくい。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		荻窪保健センターの維持管理			款	4	項	5	目	6	事業	2	整理番号	338		
担当部課名		杉並保健所荻窪保健センター			係名	業務係			連絡先電話番号	4526			昨年度整理番号	416 枝番号		
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			施設の維持管理：健康相談・健診等の利用者、自主グループ		根拠法令等		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所設置条例						
	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		設備、機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民に快適な施設環境と、的確な相談や正確な健診等を提供します。			活動指標名(式)		(1) 建物面積1㎡ (2) 保守委託契約件数								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		設備、施設機器、医療機器等各種備品の管理、保守点検等を定期的実施し、必要に応じ修繕等を行う。			成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 修繕件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		㎡	1,335	1,335	1,335	1,335	1,355	1,355	1,335	101.5	101.5				
	活動指標(2)		件	5	4	4	5	4	3	4	100.0	80.0				
	成果指標(1)		件	3	2	4	4	3	4	4	75.0	75.0				
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,408	2,090	1,659	2,476	2,149	2,062	20年度予算執行率% 86.8						
	(内)投資的経費等		千円	321	227	227	650	645	189	特記事項 執行率が低下したのは、委託契約の医療関係廃棄物回収処理及び白衣等洗濯の契約単価の減と発注量の減によるものです。						
	(内)委託費		千円	243	225	225	913	616	975							
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.70 0.00	1.70 0.20	1.70 0.20	1.70 0.40	1.70 0.40	1.70 0.40							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		千円	15,402	15,538	15,538	15,385	15,385	15,385						
		(内)非常勤職員分		千円	0	554	554	1,120	1,120	1,120						
	総事業費 + +		千円	16,810	18,182	17,751	18,981	18,654	18,567							
	単位あたりコスト (-) ÷		円	12,351	13,449	13,127	13,731	13,291	13,563							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0									
		国からの補助金等		千円	0	0	0									
都からの補助金等		千円														
その他の補助金等		千円														
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引：一般財源 -		千円	16,810	18,182	17,751	18,981	18,654	18,567								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 338

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		修繕費			
		器機保守委託			485
		賃借料			214
		備品費			645
		その他(一般需用費)			763
(2)事業実績	各種の健康診査や健康相談等を実施するための基盤整備として、老朽化した医療機器等備品類の買換え(小児用デジタル身長体重計等)、修繕(歯科治療機等)、保守委託(心電計、計量器等)を行い、適切な保健サービスの提供を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	急速に進む少子高齢化や女性の社会進出、変動する経済情勢などにより、区民の生活や価値観は一層多様化し、保健福祉サービスのあり方にも変化が求められている。また、医療関係機器等備品類に、耐用年数を超え、交換の時期を迎えているものも多くなりつつあります。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	駅に近いこともあり、調理実習室等の一般開放への要望があったため、保健センター共通の利用の基準を定めました。
	今後の予測	今後、医療機器等備品類の老朽化が一層顕著になることから、センターを適切に維持管理するためにも計画的な更新が必要となります。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか	左の理由または具体的内容	
	貢献度 大(理由)	区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供していく施設として、適正に維持管理していくことは、区民の保健福祉の向上のために欠かせないものであります。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか	この間、施設や機器等備品類の老朽化により維持費や修繕費が増加しています。今後も区民に適切な保健サービスを提供する施設として欠かせない備品類の更新が完了するまでの間は、費用増が見込まれます。	
	成果向上のための方策		
	(3) 受益者負担の見直し余地は	地域保健法に基づく利用者又は保健センター条例による利用者であり、使用料条例に基づく現在の受益者負担は妥当です。	
(4) コストを下げる余地はあるか	ある [その他] (具体的内容)		設備機器・医療機器等備品類の使用手法や管理を適正に行い修繕回数を減少させるとともに、ISO基準に基づき用紙類や廃棄物の一層の削減を図ります。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手
	十分に実現している	企業・個人事業者((3)へ)
(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
委託 [業務量の50%以上に相当]	実施継続	

評価と課題
 健診事業で用いる機器については、定期的な保守点検を行うとともに、故障した機器等は適切に買換え、修繕をおこない、事業に支障がないよう、対応できた。健康づくり活動のための一般区民の利用に関しては、保健センターの設置目的に沿った形で5保健センター共通の利用基準を定め、統一的な対応が可能になった。荻窪保健センターは利便性がよいため、各種申請等での来庁者が多いが、座って書類記入ができるスペースが少なく、妊婦・高齢者等に負担がかかることが課題となっていた。

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	ローカウンター化が予算化され、21年度上半期中に設置する予定です。これにより、妊産婦や高齢者、障害者との相談や自立支援・医療費助成等の業務が、一層円滑に実施することができます。			
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 安全で快適なセンターの維持管理には、医療機器や設備機器を常に正常に保つ必要があります。今後は、備品台帳等を基に、保守点検を一層強化するとともに、適宜適切に修繕や更新を行い、より信頼されるセンターを実現します。			
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	設備機器・医療機器等備品類の購入は、毎年の財源次第という不安定な状況にあります。建物や付帯設備の改修等については、営繕課が区有施設全般を掌握し、財源を調整のうえ計画的に実施しています。備品類についても、財源確保の考え方と備品類保全・更新のあり方を明確にしていく必要があります。(備品台帳に更新予定年月日欄を設け、計画的に管理していくことは、システマ的にもそれ程困難ではないと思われま。			
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由 経常業務への経費(A・B経費)の増減は見られません。また、備品費購入費等単年度経費(C経費)も一定額見込まれますが、21年度のC経費枠内での対応が可能であると考えられます。		

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高井戸保健センターの維持管理			款	4	項	5	目	6	事業	3	整理番号	339		
担当部課名		杉並保健所高井戸保健センター			係名	業務係			連絡先電話番号	4506			昨年度整理番号	417 枝番号		
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	42	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			施設の維持管理：健康相談や各種健診等利用者、自主グループ		根拠法令等		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置に関する条例						
	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって、快適な環境を整備します。			活動指標名(式)		(1) 建物面積㎡ (2) 保守契約委託件数								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		庁舎、設備機器、医療機器等各種備品の管理を行うとともに、保守点検及び修繕を行う。			成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 修繕件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度			
指標	活動指標(1)		㎡	1,357	1,357	1,357	1,357	1,357	1,357	1,357	1,357	100.0	100.0			
	活動指標(2)		件	15	15	15	15	16	16	15	106.7	106.7				
	成果指標(1)		件	10	17	13	15	8	10	15	53.3	53.3				
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,987	13,917	13,002	14,435	13,848	13,713	20年度予算執行率%		95.9				
	(内)投資的経費等		千円	96	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	7,149	7,168	6,827	8,000	7,759	7,983							
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.30 0.00	2.21 0.00	1.85 0.00	1.85 0.00	1.85 0.00	1.85 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	11,778	20,199	16,909	16,743	16,743	16,743							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	24,765	34,116	29,911	31,178	30,591	30,456							
	単位あたりコスト (-)÷		円	18,179	25,141	22,042	22,976	22,543	22,444							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0									
		国からの補助金等		千円	0	0	0									
		都からの補助金等		千円												
その他の補助金等		千円														
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引：一般財源 -		千円	24,765	34,116	29,911	31,178	30,591	30,456								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 339

20年度 の事業実施 状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費 の内訳として会計上設 定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				清掃業務請負委託	
		機械設備保守委託			290
		光熱水費			3,097
		修繕費			814
		その他()			4,840
	(2)事業実績	清掃業務として毎日の清掃及び定期的な清掃業務を委託し、施設内は清潔に保持されています。しかし、築年数がたっているため、建物全体の改修が必要ですが、緊急度の高い備品の取替えや修繕を行ってきました。			

事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスのあり方にも変化が求められています。センターは施設の老朽化に伴い、設備修繕箇所が発生し、医療機器も耐用年数を超え、交換の時期をむかえています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	エレベーター設置の要望が出されています。
	今後の予測	老朽化に伴う施設の修繕やエレベーター・ローカウンターを設置など、利用者にとって安全で利用しやすいバリアフリーの施設が今後更に求められています。

事業のあり 方点検	左の理由または具体的内容
(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供することにより、保健福祉の向上に欠かせない施設です。
(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	施設の老朽化により、維持費や修繕費が増加しています。区民の誰もが利用しやすい施設にするためには費用増が見込まれます。 安全、快適に利用できる施設改修等を行います。
(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	区民の健康増進を目的としての施設管理であり、受益者負担はなじみません。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	必要最小限の予算の中で、修繕等を行ってきたためです。

協働等 点検	(1)協働等は実現しているか	(2)協働等の相手
	十分に実現している	企業・個人事業者((3)へ)
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	毎年、利用者である区民に支障をきたす備品の買換えや緊急性の高い不具合箇所の修繕などを優先的に行い実施し、サービス向上に努めてきました。今後も、安心して利用できる施設改善に向けて整備していくことが求められています。
-------	--

改善・ 見直し の方向 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	限られた予算の中で、区民が快適で安全に受診・相談などが出来るよう工夫を凝らし改善を図ってきました。しかし、施設の老朽化が進んでいる中で、一部分の改善を図りましたが多くが課題として今後に残されました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 短期間の中ですべてを改善することは困難であることから、計画的にかつ、優先順位をつけ、改善を図っていきます。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児の保護者などが利用する施設であるため、バリアフリーの施設が求められていますが、現状は事務所が2階になっているなど利便性が必ずしも良いとは言えません。センター機能が十分発揮できる施設改善に向けた対応を強めていきます。		
22年度 方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由	清掃、機器等の保守委託契約については、コストは低く質は高めらるよう維持管理運営を行っていきます。また、火災や地震など災害に強い施設改善を行うことが地域の拠点であるセンター機能が活かされ区民サービスの向上につながると考えます。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高円寺保健センターの維持管理				款	4	項	5	目	6	事業	4	整理番号	340					
担当部課名		杉並保健所高円寺保健センター				係名	業務係			連絡先電話番号	4512		昨年度整理番号	418		枝番号				
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進				予算事業区分														
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		施設の維持管理：健康相談・健診等利用者、自主グループ							
	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		施設・設備機器等の維持管理：健康相談・各種健診等で来所した区民にとって、安全で快適な環境を整備します。										活動指標名(式)		(1) 建物面積1㎡		(2) 保守委託契約件数			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		庁舎・設備機器等の維持管理、保守点検等を定期的に行い、必要に応じて修繕を行う。										成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
		成果指標名(1)		修繕件数		算定式・指標の説明等		成果指標名(2)		算定式・指標の説明等										
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%							
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度							
指標	活動指標(1)		㎡	1,765		1,765		1,765		1,765		1,765		1,765		100.0		100.0		
	活動指標(2)		件	12		14		14		14		14		15		93.3		100.0		
	成果指標(1)		件	20		20		11		10		17		5		340.0		170.0		
	成果指標(2)																			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	21,312		23,320		21,557		23,828		22,464		18,849		20年度予算執行率%		94.3		
	(内)投資的経費等		千円	79		390		507		69		0		0		特記事項				
	(内)委託費		千円	12,255		12,752		12,236		13,861		13,323		12,270						
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.21	0.00	1.21	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		千円	10,963		11,059		13,710		13,575		13,575		13,575					
		(内)非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		0					
	総事業費 + +		千円	32,275		34,379		35,267		37,403		36,039		32,424						
	単位あたりコスト (-) ÷		円	18,241		19,257		19,694		21,152		20,419		18,371						
	財源	受益者負担分		千円	237		218		205		222		187		147					
		国からの補助金等		千円	0		0		0		0		0		0					
		都からの補助金等		千円	/		/		/		0		0		0					
その他の補助金等		千円	/		/		/		0		0		0							
特定財源計 + + +		千円	237		218		205		222		187		147							
差引：一般財源 -		千円	32,038		34,161		35,062		37,181		35,852		32,277							
受益者負担比率 ÷		%	0.7		0.6		0.6		0.6		0.5		0.5							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 340

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単位	事業費(千円)	
(1)主な取組み <small>(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目</small>	清掃業務請負委託				8,477
	機械設備保守委託				1,353
	光熱水費				5,947
	修繕費				1,310
	その他(分室を含む各種保守業務委託、賃貸借料ほか)				5,377
(2)事業実績	清掃業務として日常及び定期清掃の実施及び清掃員の配置、ボイラーの運転等監視業務及び監視員の配置。機械設備保守業務として空調設備等の定期点検を委託実施しているほか、14業務の保守委託、リース備品の賃貸借料の支払、電気・ガス・水道の光熱水費の支払、保健センター分室を含む施設設備における不具合が生じた場合の修繕の請負業務と支払等が主な取り組みとしての実績です。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	数年前から、空調設備・給排水等の大規模改修の必要性が指摘されてきましたが、平成20年度に補正予算により、大規模改修工事の設計費が計上され、平成21年度には当初予算により、改修工事費が計上され、大規模改修工事の実施が決定しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	エレベーターの設置、洋式トイレへの改善等の要望・意見があります。
	今後の予測	頻繁に発生していた空調設備、給排水設備の不具合、雨漏り等が改善され、修繕等の件数は大幅に減少すると思われます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	地域の健康相談、健康づくりの拠点としての保健センターの施設の安全と管理を実施する意義は大きいものがあります。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	大規模改修工事を行うためには、一定の事業費が必要です。 別途、改修工事費の予算の計上により、実施が可能となります。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	分室使用料の見直しが考えられますが、大きな変化は期待できないと考えられます。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	改修後の個別空調など必要に応じた空調などにより、光熱水費や修繕費の削減が見込まれます。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	大規模改修の実施により、長年の課題であった施設の老朽化による、空調、給排水、雨漏り等については改善される見込みが立ちました。工事期間の移転先への円滑な移転作業の実施、移転先でのスムーズな事業運営の実施、また、改修後の施設の有効な活用方法や工夫を検討し、可能なコストの削減、区民サービスの一層の充実を図ります。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	「高円寺保健センターの改修」の事業名で平成20年度に、改修の設計費を計上し設計業務を行いました。平成21年度には、同事業に工事関係費を計上しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成21年度改修工事(工期は平成21年7月から平成22年2月まで)を実施。その間移転して一部の業務を除き保健センター業務を継続して実施します。施設改修後は、相談室を増設するなど区民サービスの向上が図れる施設運営を実施します。また、セキュリティの万全を図ります							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	工事期間中の移転施設は狭隘であるため、事業実施に混乱が起きないよう工夫が必要です。								
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	施設が改修され、個別空調の実施、小修繕の減少などが見込まれますが、同様の施設規模の中で保守委託業務は引続き継続されますので、予算見積上は大きな変化は見込めない状況です。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		上井草保健センターの維持管理			款	4	項	5	目	6	事業	5	整理番号	341						
担当部課名		杉並保健所上井草保健センター -			係名	業務係			連絡先電話番号	4504			昨年度整理番号	419 枝番号						
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分															
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	60	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等 (1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置に関する条例												
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって快適な環境を整備するとともに非常時の安全確保を図る。					活動指標名(式)					(1) 建物面積1㎡ (2) 保守契約委託件数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		庁舎・設備機器の維持管理、医療機器等各种備品を管理するため保守点検及び修繕等を行う。					成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					成果指標名(1) 修繕件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%							
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度							
指標	活動指標(1)		㎡	815		815		815		815		815		815						
	活動指標(2)		件	11		12		11		11		11		11						
	成果指標(1)		件	10		10		10		10		14		10						
	成果指標(2)																			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,887		12,281		10,258		12,410		10,361		10,500		20年度予算執行率%		83.5		
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0								特記事項				
	(内)委託費		千円	4,383		4,613		4,585		5,268		5,061		5,207						
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.15	0.05	1.15	0.05	1.13	0.05	1.13	0.05	1.13	0.05	1.13	0.05					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		千円	10,419		10,511		10,328		10,227		10,227		10,227					
		(内)非常勤職員分		千円	142		139		139		140		140		140					
	総事業費 + +		千円	21,448		22,931		20,725		22,777		20,728		20,867						
	単位あたりコスト (-) ÷		円	26,317		28,136		25,429		27,947		25,433		25,604						
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		0					
		国からの補助金等		千円	0		0		0		0		0		0					
		都からの補助金等		千円	/		/		/		/		/		/					
		その他の補助金等		千円	/		/		/		/		/		/					
		特定財源計 + + +		千円	0		0		0		0		0		0					
差引:一般財源 -		千円	21,448		22,931		20,725		22,777		20,728		20,867							
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 341

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		清掃業務委託			
		機械設備保守委託			492
		光熱水費			1,495
		修繕費			813
		その他 ()			4,347
(2)事業実績	清掃業務として日常及び定期清掃の実施及び清掃員の配置。機械設備保守業務として空調設備等の定期点検を委託実施しているほか、リース備品の賃貸借料の支払、電気・ガス・水道の光熱水費の支払い、修繕の請負業務と支払等が主な取り組みとしての実績です。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスの質やあり方にも変化が求められています。センターは施設の老朽化に伴い、設備修繕が多々発生し、医療機器も耐用年数を超え、交換の時期をむかえています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	エレベーター設置の要望が出ています。ベビーカーを置く場所が狭く、特に雨の日などに苦労します。また、盗難も心配です。
	今後の予測	レントゲン室等、使用頻度の低いスペースの区民一般利用に供することが可能か、また他の活用方法を検討を要します。 老朽化に伴う修繕経費の増加が見込まれます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスの提供することは保健福祉の向上に欠かせない施設です。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	施設の老朽化により維持費や修繕費が増加している。区民のだれもが利用しやすい施設にするためには費用増が見込まれます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	使っていない時間に利用できる会議室の一般利用の創設
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	ISOに基づく減量化

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	利用者に乳幼児・高齢者・障害者が多いにもかかわらず、施設が老朽化しておりバリアフリー化がすすんでいません。事故等が起きないように体制作りが必要です。また保健センターに求められるサービスの変化に伴い施設内に使用頻度のかたよりができました。使用頻度の低いスペースを有効に活用できるような改修等を検討していきます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	門扉レールを、つまずき・転倒の防止を図るためバリアフリー化します。診察室のくすんだ壁を塗り替え、快適空間に改善します。		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設の老朽化が進んでいるため、利用者の安全を図るためのエレベーター設置など大規模な改修等を営繕課と協議しながら、さらに改善を図ります。		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	多額の費用がかかります。新たな施設の需要が生じた場合に併設等で改築が可能か検討します。		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由	老朽化のため修繕を要する設備や造作については、安全を最優先に改修します。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		和泉保健センターの維持管理				款	4	項	5	目	6	事業	6	整理番号	342		
担当部課名		杉並保健所和泉保健センター				係名	業務係			連絡先電話番号	4508		昨年度整理番号	420		枝番号	
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進				予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	56	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等 (1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置に関する条約									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって快適で安全な環境を整備します。				活動指標名(式)						(1) 建物面積 (2) 保守委託契約件数				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		庁舎・設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕等を行う。				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						成果指標名(1) 修繕件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等				
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度				
指標	活動指標(1)		m ²	620	620	620	620	620	620	620	620	620	100.0	100.0			
	活動指標(2)		件	11	11	11	11	11	11	11	11	11	100.0	100.0			
	成果指標(1)		件	8	1	5	1	4	5	5	5	80.0	400.0				
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,796	9,523	8,375	9,657	8,864	9,487	20年度予算執行率%		91.8					
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費		千円	4,026	4,090	4,063	4,915	4,740	5,335								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.80 0.00	0.80 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	7,248	7,312	8,226	8,145	8,145	8,145								
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0								
	総事業費 + +		千円	16,044	16,835	16,601	17,802	17,009	17,632								
	単位あたりコスト (-)÷		円	25,877	27,153	26,776	28,713	27,434	28,439								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等		千円													
その他の補助金等		千円															
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源 -		千円	16,044	16,835	16,601	17,802	17,009	17,632									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 342

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		清掃業務請負委託			
		機械設備保守委託			143
		光熱水費			1,797
		修繕費	4	件	264
		その他 ()			4,432
(2)事業実績	歯科検診用機器の修繕、栄養室設備の改修等を行い、適切な健診や健康相談事業の実施に努めました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスの質やあり方にも変化が求められています。センターは施設の経年劣化に伴い、設備修繕の必要性が発生しています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	エレベーター・授乳室の設置要望があります。
	今後の予測	今年度は高円寺保健センターの改築により、検査をともなう健康相談業務を実施するが、次年度以降は3保健センター(荻窪・高井戸・高円寺)で行います。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供することは保健福祉の向上に欠かせない施設です。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	誰もが利用しやすい施設にするためにエレベーターの設置やトイレのベビーベッド整備授乳室確保など施設設備の大規模な改修工事が必要です。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	地域保健法に基づく利用者または保健センター条例による利用者であり、使用料条例に基づく現在の受益者負担は妥当です。
(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	保健センターの役割分担の見直しにともない、医療機器等各種備品の管理等あり方の検討によりコストの削減を図る余地はあります。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	妊産婦や乳幼児、高齢者、障害者の利用頻度が高いので、授乳室、エレベーターの設置や段差解消が望まれる。施設の老朽化に対応した改修を営繕課と協議して進めていく必要がある。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	設備機器・医療機器等で年数を経過したものを撤去し、他保健センターから借用して事業を実施しています。		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設のバリアフリー化をめざし、改修可能な設備等から改善を進めます。		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	財源の確保が困難ですが、営繕課調査を通して改革案を働きかけていきます。		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由	経年劣化による修繕や設備等の改修は、利用者の安全を重視して実施していきます。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	高円寺保健センターの改修	款	4	項	5	目	7	事業	1	整理番号	345
担当部課名	杉並保健所高円寺保健センター	係名	業務係			連絡先電話番号	4512			昨年度整理番号	枝番号
上位施策No・施策名	22 健康なまちづくりの推進					予算事業区分	投資事業 新規事業				

事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等 (1) 地域保健法、同施行令、同施行規則 (2) 杉並区保健所設置条例						
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	施設の改修: 施設・設備等の老朽化に伴う空調設備、給排水設備、外壁等の大規模改修を行うことにより、施設設備の改修、改善を図ります。						活動指標名(式) (1) 建物面積1㎡ (2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	施設の大規模改修工事に向けた設計を実施する。						成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 修繕件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等					

区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%	
		実績		計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	㎡				1,765	1,765	1,765			100.0	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	件				10	17	5			170.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円				5,801	3,046	272,404	20年度予算執行率% 52.5			
	(内)投資的経費等	千円				5,801	3,046	272,404	特記事項			
	(内)委託費	千円				5,292	3,046	263,604				
	職員数(常勤 非常勤)	人				0.20	0.00	0.20	0.00	1.00	0.00	
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	0	0	1,810	1,810	9,050			
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	0	0	0	7,611	4,856	281,454				
	単位あたりコスト (-)÷	円				1,025	1,025	5,127				
	財源	受益者負担分	千円				0	0	0			
		国からの補助金等	千円				0	0	0			
		都からの補助金等	千円	/	/	/	0	0	0			
		その他の補助金等	千円	/	/	/	0	0	0			
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	7,611	4,856	281,454				
受益者負担比率 ÷		%				0.0	0.0	0.0				

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 345

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		設計費	1	件
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目				
	その他(建材等分析調査費)			989
(2)事業実績	大規模改修工事に向けた設計費の計上と改修設計を実施しました。			

事業開始当初から現在までの変化	数年前から、空調設備、給排水設備等の大規模改修の必要性が指摘されてきましたが、施設維持に限界が生じてきたため、平成20年度に補正予算により設計費が計上され、引続き平成21年度に当初予算により、改修工事費が計上され、大規模改修工事の実施を決定しました。
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	
今後の予測	平成21年度は狭隘な仮施設で事業運営を行うため、事業実施に多少の弊害が生じる恐れがあります。改修後は、当面修繕等は大幅に減少するものと予測されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	頻繁に起きていた空調や給排水、雨漏りなどが改善され、施設設備環境が大幅に改善されます。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	施設設備の不具合が改善されるほか、相談室の増設、内外装の改善などにより、リニューアルの成果が生まれます。
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	職場レイアウト等をしっかり検討することにより、区民サービス、職場環境、セキュリティの向上につながります。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	内部管理のため、受益者負担とは直接結びつきません。
(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	設計、工事の競争入札の実施、個別空調の導入により光熱水費等のコスト削減の余地はあります。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	長年の課題であった施設設備の老朽化による、施設設備の不具合が基本的に改善されることとなりました。改修後の各施設設備の活用の方法、レイアウトの改善により、区民サービスの向上、セキュリティの向上、職場環境の向上を図ります。
-------	---

成果:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減
(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 20年度に大規模改修工事の実施方針が正式に決定され、設計費が補正予算に計上され、21年度には工事費等を計上しました。							
(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成21年7月から平成22年2月までを工期として、大規模改修工事を実施します。その間保健センター業務は、阿佐ヶ谷の仮施設において実施し、改修後3月に本来施設に戻りますが、それまでに利用しやすい施設としてのレイアウトを検討します。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 大規模改修工事を実施するには、2回にわたる移転作業を行わなければならないこと、仮施設は狭隘なため、工夫しながら事業実施を行わなければならない状況です。職員全体のモチベーションを高め、レイアウトや運営に知恵を出し合うことが必要になります。							
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	平成21年度で事業を終了します。					